

とどろき

田検小学校だより
令和4年2月21日(月)
宇検村立田検小学校

だね。おめでとう。」「中学校でも頑張ってるね。」と声をかけていただけるとありがたいです。保護者、地域の皆様に見守られて、子どもたちは更に大きく成長していきます。

子どもたちの成長を見つめて

校長 平山 晋

2月17日に、来年度入学予定の園児とその保護者の皆を対象に、「体験入学・入学説明会」を開催いたしました。来年度の入学予定児は、9人です。そのうち1人は、3月末に転居してくる予定ですので、8人の園児が、保護者に連れられて、本校にやってきました。保護者の横に座り、不安そうな顔をしている子や自由に動き回っている子もいましたが、どの子もあどけなくかわいらしい園児でした。そんな園児を見ながら、「1年生も、去年はこんな感じだったのかな。」などと想像し、思わず笑顔になりました。

開始時刻になり、園児を1年生が迎えに来ましたが、その時の1年生の表情が、「お兄さん、お姉さんだよ。」といった気持ちが表れていて、とても立派に見えました。普段は、小学校の最低学年のかわいい児童という感じなのですが、この日はとても立派でした。引率の先生によると、「一緒に行こう。」と園児を交流会場の体育館に連れて行く時や、クイズやゲーム、プレゼントなどの説明、進行、お世話をする時など

も、お兄さん、お姉さんとして、堂々と立派にできたそうです。1年生が本校に入学してから11か月。その間の成長は素晴らしいものです。学習はもちろん、そうじや給食当番、あいさつや返事など、いろいろなことが上手にできるようになってきました。今回のように年下の子たちと並ぶと、そのことを余計に強く感じます。子どもたちの成長の可能性に感動する場面でした。

さて、あと1か月もすると、6年生は卒業式を迎えます。6年生が1年生の時はどんな感じだったのでしょうか。小学校で6年間を過ごしてきて、どんな成長を見せてくれたのでしょうか。今年1年間の姿としては、最上級生として、みんなのためにいろいろなことを企画、運営してくれました。いつでも頼もしい6年生でした。その6年生が1年生の頃からどれくらい成長したかを一番よく分かっておられるのは、保護者の皆様だと思います。卒業を前に、保護者の皆様の胸に迫る思いは大変大きなものだと思います。しかし、6年生の成長はそこで終わりではありません。中学校に入ると1年生として再出発です。上級生の姿を見ながら、多くのことを学び、もっと大きく成長していくことでしょう。

卒業式は、3月24日(木)です。感染症対策のために、残念ながら今回も地域の皆様にはご出席いただけませんが、集落内で6年生に会われた時は、「もうすぐ卒業

新1年生体験入学



2月17日(木)、4月に入学する保育所生の体験入学がありました。1年生が先輩として歓迎のリクリエーションをしてくれました。

行事予定



- 1日(月) 校長先生との会食(～3日)
- 3日(木) お別れ球技大会(5・6年)⑤⑥
- 4日(金) 6年生を送る会(学校)
お別れ遠足(村総合運動公園)
- 8日(火) C校時
- 9日(水) C校時
- 10日(水) 卒業式練習
- 11日(金) C校時
- 12日(土) 土曜授業
- 15日(火) C校時, バイキング給食, 田検中卒業式
- 16日(水) C校時
- 17日(木) 卒業式予行
- 18日(金) C校時
- 20日(日) ウヤフジ感謝の日
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) C校時, 卒業式練習
- 23日(水) C校時, 卒業式準備
- 24日(木) 第74回卒業式
- 25日(金) 修了式・離任式

第3回 心の教室



1月28日(金) 3回目の心の教室が開催されました。今回は、自分の大切なもの・落ち着くもの・好きな場所を詰め込んだ『宝箱』作りをしました。自分の心を感じながら、好きな色で絵や文字を書きました。

オンライン 豆まき集会



2月1日(火) 朝の児童集会は、運営委員会の司会でオンライン豆まき集会を実施しました。学級の代表児童が「追い出したい鬼」を発表し、黒板に貼った鬼をめがけて玉(紙を丸めたボール)を投げて、鬼を追い出しました。

宇検村書き初め会



1月7日(金) 宇検村書き初め会が開催され、田検小の児童が特別賞を独占しました！

- | | | | |
|--------|----|----|------|
| 宇検村長賞 | 4年 | 松枝 | 瑠渚さん |
| 村議会議長賞 | 6年 | 碓元 | 陽衣さん |
| 村教育長賞 | 3年 | 三谷 | 光季さん |
| 村校長会賞 | 1年 | 松元 | 穂香さん |

緑の少年団～椎茸のコマ打ち体験～



今年度最後の緑の少年団の活動は椎茸のコマ打ち体験。大島支庁林務水産課のご支援・ご指導で恒例の活動となってきました。県本土では、コマ打ちをして二夏越してようやく椎茸が出てくるそうですが、奄美では一夏越すと秋には出てきます。今年の秋・冬の収穫が楽しみです。